

# (株)杜氏の郷役員は暫定でなく通常の体制 地区別説明会で総合事務所が最近の動きを報告

昨年の12月19日に新体制ができた(株)よしかわ杜氏の郷のその後の動きについて、市役所総合事務所は25日、吉川区内3か所で地区別説明会(写真は吉川コミプラ会場)を行いました。市議会の定数問題での報告会と重なりましたが、地元ですの地区別説明会に参加してきました。

総合事務所の説明では、市が今月9日に1億2000万円の増資を行ったこと、旧役員5氏が2100万円の増資後、従来からの出資分を含め2175万円を市に寄付したこと、新役員の任期は当初説明してきた今期の残任期間ではなく、定款で定められた期間(取締役は2年、監査役は4年)となることなどが報告されました。会社法の関係で、会社役員の報酬もゼロというわけにはいかないことがわかったといいます。注目のジャパン・フード&リカー・アライ



アンス(株)との委託契約については150万円です。結び、製造や営業などに関する調査、助言、提案をしてもらうほか、6月の末までの経営改善計画の立案で仕事をしてもらおうとのこと。同社がお客を新規に開拓した場合は、売上の5%を成功報酬として払う契約

だそうです。

説明会の参加者は全体で20人ほどでしたが、「新体制は暫定でないのか。どんな経営計画でいくのか。いままでと違ったやり方をしないと成功しない」「2度と税金投入はしてほしくない。率先して自慢できる酒を造ってほしい」「酒蔵の門はとった方がいい。道の駅、ゆつたりの郷などと一体化させ、吉川の顔にもっていったらいい」「こんどこそはという思いでやってもらいたい。地元で愛される酒を」などたくさん声が出ました。

## 市議会で地域福祉総合拠点を視察

市議会は27日、旧県立高田盲学校の敷地・校舎を利活用した上越地域福祉総合拠点を視察してきました。(写真下)



施設整備基本方針では、①老若男女、障害の有無を問わず、すべての人が集う施設にする、②だれもが使いやすい施設にする、③地域の施設や機関との連携及び調整・指導機能をもたせることなどが掲げられていました。

改築工事は最終段階。中庭を囲んだ建物の中に子どもからお年寄りの福祉、その他いろいろな空間がありますが、初めて訪れた人にはわかりにくいのが気になりました。明るくていい施設ですが、吉川区からは遠いですね。



## 中心市街地活性化策探る

日本共産党議員団主催の市民懇談会は6回目。7億円の市費を入れる旧高田共同ビル再生事業、まちづくりのあり方、商業政策等で活発な発言が続きました。29日開催。



## 違法解雇被害者に支援を

3月半ばまでの雇用契約だったのに1月上旬に切られたHさん。子どもさんと二人暮らし。親子が毛布にくるまって寒さをしのいでいます。23日、市に支援を要請しました。



## 冬期保安要員制度拡充を!

新潟県は2年前に改悪したばかりの冬期保安要員制度をまた変えようとしています。「豪雪地にはなくてはならない制度」と十日町市議らと訴えてきました。29日、県庁で。



NO 1382  
2009.2.1

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
Tel 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/